



STEP WORLD TIMES

発行者 一般財団法人 日本ラーニング・ラボラトリー教育センター 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6251

March 2014 No.91

速報

2013年度 全国ジュニア英語スピーチ・コンテスト決勝大会



2月2日(日)、「全国ジュニア英語スピーチ・コンテスト決勝大会」が、東京・千代田区立内幸町ホールにて開催されました。36回目を迎える当大会では、全国4会場でのブロック予選を勝ち抜いたステップワールドの小学生16名、中学生11名が、英語スピーチの全国一位の座を目指して競い合いました。

課題のストーリーをそれぞれの思いを込めて表現豊かに伝える「小学生の部」の後、中学生の部では個々のテーマに沿った、内容深く迫力のあるスピーチが続きました。

入賞者発表後の講評では、審査員を代表して3名の先生方にお話いただき、賞賛やねぎらいのお言葉とともに、次のようなアドバイスやメッセージをいただきました。

小学生の部について「みなさんのように、小学生のうちにしっかりした(英語の)音が入っているということがとても大事で、このことは中学、高校と進んで英語を

やっていく上でしっかりした礎としてみなさんの支えになるでしょう。これからも続けて頑張ってください。」(中部学院大学客員教授、久埜百合先生)

中学生の部について「最初の出だしでいかに人を引き付けるか、いかに人にわかりやすく伝えるかが大切です。つまり、間の使い方を工夫する研究をしていくとよりよいスピーチになるでしょう。」(東洋学園大学教授、黄金井健夫先生)

そして全体の総括では「私はよく、英語の学習は『小さい穴があいたバケツで水を運ぶようなものだ』と例えています。どんなに勉強しても英語の勉強に終わりはありません。そこでやめたら、少しずつ英語力は減っていくんです。どうぞこのままずっと英語の勉強を続けていってください。」(清泉女子大学教授、大杉正明先生)

最後に会場の全員で「Practice makes perfect!」と合唱し、会が締めくくられました。入賞者は下記のとおりです。

最優秀賞者インタビュー 小学生の部

小学生の部 最優秀賞

伊東千佳子(いとう ちかこ)さん 佐賀新聞文化センター佐賀教室
佐賀・佐賀市立赤松小学校5年
課題文のタイトル: Laughter Is the Best Medicine



- Q 最優秀賞を受賞した今の感想は?
- A 最優秀賞は去年とれなかったもので、とってもうれしいです。
- Q この喜びを誰に伝えたいですか?
- A お母さんと友達に伝えたいです。
- Q 舞台では緊張しましたか?
- A 練習でできていたことをそのまますればいいと思ってやりました。でも、緊張はしました。
- Q 今日のスピーチにあたって、どんな気持ちで臨みましたか?
- A 練習の成果を出せたらいいなという気持ちで臨みました。
- Q スピーチに向けてどんな練習をしましたか?
- A 教室では先生にアドバイスをもらって、家で練習しました。特に、手の動きとか目線とかに注意して練習しました。
- Q 英語はいつごろから習い始めましたか?
- A 2,3歳ごろから始めました。
- Q ステップワールドにはいつごろから通い始めましたか?
- A 小学2年生のころから通い始めました。

- Q 教室は楽しいですか? 英語ができて得たことはありますか?
- A 友達がいるので教室は楽しいです。学校の外国人の先生と簡単な会話ができるので、英語ができてよかったです。
- Q 英語のどういう勉強が好きですか?
- A リスニングかな...
- Q 1日何時間くらい英語の勉強していますか?
- A 英語の勉強は週2時間くらいしています。
- Q 英語を勉強していてよかったこと、楽しかったことは?
- A スピーチコンテストに出場できたことが一番よかったです。
- Q 教室の先生のどんなところが好きですか?
- A わかりやすく教えてくださいました。
- Q 今英検は何級を持っていますか?
- A 特に持っていません。
- Q 将来の夢は何ですか? 尊敬する人は?
- A 2020年の東京五輪の通訳のボランティアなどになりたいです。カトリック先生(教室の先生)を尊敬しています。

<小学生の部>優秀賞のみなさん

*出場順

- ◎ 優秀賞 安倍 帆奈美(あべ ほなみ)さん 帯広教室
北海道・帯広市立森の里小学校6年
課題文のタイトル: Beauty and the Beast
- ◎ 優秀賞 石戸 凜太郎(いしと りんたろう)さん 大文堂外語スクール
北海道・北海道教育大学附属函館小学校6年
課題文のタイトル: The Herb "Mega"
- ◎ 優秀賞 浜利 奈子(はま りなこ)さん SW春陽館高田教室
新潟・上越教育大学附属小学校6年
課題文のタイトル: Beauty and the Beast
- ◎ 優秀賞 古屋 沙耶香(ふるや さやか)さん マルサン三島教室
静岡・三島市立西小学校6年
課題文のタイトル: Beauty and the Beast
- ◎ 優秀賞 三國 暁帆(みくに あきほ)さん 都立大学教室
東京・昭和女子大学附属昭和小学校6年
課題文のタイトル: Beauty and the Beast

最優秀賞者インタビュー 中学生の部

中学生の部 最優秀賞

坂根 怜(さかね れい)さん 谷島屋さなる教室
静岡・静岡大学教育学部附属浜松中学校2年
スピーチのタイトル: The Reason Why I Want to Be a Doctor



- Q 最優秀賞を受賞した今の感想は?
- A とてもうれしいです。これまで頑張ってきた甲斐がありました。
- Q この喜びを誰に伝えたいですか?
- A 家族と指導してくださった先生、このスピーチに出てくる亡くなった祖父に伝えたいです。
- Q 舞台では緊張しましたか? 緊張しないためにどんなことを心がけましたか?
- A 始まる前はとても緊張していましたが、小6の時、この全国大会に出場したことで、今、中学校で生徒会長をしている経験を生かして、いつもどおりにやれば大丈夫と自分に言い聞かせて頑張りました。
- Q スピーチに向けてどんな練習をしましたか?
- A 声が低く、こもってしまいがちなので、口を大きく開けて、声を遠くに届けることに気を付けて練習をしました。先生とマンツーマンでたくさん練習をしました。特に、LとRの発音が苦手なので、そこは何度も何度も練習しました。
- Q 何に気をつけてスピーチに臨みましたか?
- A 結論部分で自分の主張がみんなに伝わるように、気持ちを込めてスピーチをしました。

- Q 英語はいつごろから習い始めましたか?
- A 学校、ステップワールドの教室、ともに小学校1年生からです。ステップワールドに通っていた兄がスピーチコンテストで発表している姿に憧れて、習い始めました。
- Q 英語のどういう勉強が好きですか?
- A Speakingです。文法をしっかり理解して、英語で話せるようになって、うれしいです。
- Q そういう能力を伸ばすためにどんな英語の勉強をしていますか?
- A 学校でネイティブの先生と話したり、兄と英語で話したりしています。
- Q 教室でのお勉強はどうですか?
- A 先生は教科書の内容だけでなく、日常生活を英語で表現したり、面白い話を交えながら授業をして下さるので、とても楽しいです。
- Q 今英検は何級を持っていますか?
- A 中1の最初の頃に3級を取りました。
- Q 将来の夢は何ですか? 尊敬する人は?
- A 将来の夢はスピーチの通り、医者です。尊敬する人は医者に限らず、人々の心に寄り添って人のために全力を尽くすことのできる人です。私もそういう人になりたいと思います。

<中学生の部>優秀賞のみなさん

*出場順

- ◎ 優秀賞 池谷 郁美(いけたに いくみ)さん 上石神井教室
東京・練馬区立上石神井中学校1年
スピーチのタイトル: Fly High
- ◎ 優秀賞 佐々木 舞(ささき まい)さん 帯広教室
北海道・帯広市立帯広第五中学校2年
スピーチのタイトル: Disconnected
- ◎ 優秀賞 菅 美香子(すが みかこ)さん 大分合同新聞英語スクール
大分・大分大学教育福祉科学部附属中学校2年
スピーチのタイトル: Spreading "Nichibu" to the World

*当コンテストの詳細(今年度ブロック大会及び昨年度までの決勝大会)につきましては、下記のホームページでもご紹介させていただいております。

URL: <http://www.lcenter.or.jp/box/contest/index.html>